



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社デジタルアドベンチャー 上場取引所 東
 コード番号 4772 URL <http://www.digiadv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 李 命学
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 大山 智子 TEL 03-6809-6118
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	2,061	18.8	△31	—	△29	—	△62	—
26年12月期第3四半期	1,735	△46.3	△66	—	△53	—	△21	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 △62百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 △21百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	△1.15	—
26年12月期第3四半期	△0.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	2,382	1,778	73.7	32.33
26年12月期	2,375	1,838	76.5	33.48

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,755百万円 26年12月期 1,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	12.2	50	127.3	40	8.1	30	△55.2	0.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	54,392,638株	26年12月期	54,392,638株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	79,776株	26年12月期	79,576株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	54,313,002株	26年12月期3Q	54,313,085株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和策を背景に、企業収益や雇用状況は回復傾向にあります。海外における欧州金融不安や中国経済の減速懸念等により、依然として先行きが不透明な状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間においては、引き続き所属俳優をはじめとしたファンミーティングやドラマイベントの開催、アーティスト・ドラマ関連商品の販売、ならびに前連結会計年度より進めております大型ドラマ版權の放送・DVD事業化などを行ったことで、売上高は大きく伸ばしております。

一方、利益面においては、各プロジェクトでの利益管理の徹底を図ったものの、第2四半期連結累計期間でのプロモーション費用や商品在庫の評価損等計上の影響もあり、当第3四半期連結会計期間で販売費及び一般管理費を吸収することができませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20億61百万円（前年同期比18.8%増）、営業損失31百万円（前年同期は営業損失66百万円）、経常損失29百万円（前年同期は経常損失53百万円）、四半期純損失62百万円（前年同期は四半期純損失21百万円）となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(物販事業)

第2四半期連結累計期間に引き続き、イベントでのグッズ販売等大型案件がなかったこと、また商品在庫の評価損計上など原価が嵩んだこと等により、売上高および利益とも減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億33百万円（前年同期比35.5%減）、セグメント損失は54百万円（前年同期は、セグメント利益4百万円）となっております。

(ライセンス&メディアコミュニケーション事業)

所属俳優キム・スヒョンが「ドラマ「プロデューサー」ファンミーティング2015 in Japan」を、台湾No.1俳優ジェリー・イェンが「ジェリー・イェン 2015ファンミーティング「夏祭り」」などのイベントを開催しております。新人アーティスト発掘・育成事業第1弾である原宿発がけっぶちボーイズグループBEE SHUFFLEは、7月にヨーロッパ最大級の日本文化フェスティバル“Japan Expo”（開催地：フランス）でのライブ出演、9月に3rdシングル「LOVE YOUR SMILE」を発売するなど話題を提供してまいりました。

DATVでは、大型ドラマとしては、韓国の同時帯視聴率1位となった「優しくない女たち」、所属俳優チュ・ジフン主演最新作「仮面」、中国ドラマ「風中の縁（えにし）」など話題の作品を続々日本初放送し、また所属アーティスト キム・ヒョンジュンの入隊前ラストライブを独占放送しております。さらにドラマ関連イベント（上記、ドラマ「プロデューサー」は、キム・スヒョン主演最新作でDATVでの放送決定）を開催し、新規加入促進を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18億14百万円（前年同期比33.6%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期は、セグメント損失69百万円）となっております。

(その他事業)

その他事業のうち、デジタルコンテンツ配信において、前連結会計年度に業務委託料の改定があったため売上高は減少したものの、原価の見直しを図った結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14百万円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期は、セグメント損失0百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、23億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が4億43百万円減少、前渡金が5億50百万円増加、関係会社長期貸付金が1億円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、6億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加しました。この主な要因は、買掛金が1億96百万円減少、前受金が2億4百万円増加、流動負債のその他が58百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、17億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金が62百万円減少、および新株予約権が2百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	770,708	326,930
売掛金	224,973	228,217
コンテンツ	1,354	808
商品	5,561	1,072
関係会社短期貸付金	100,000	100,000
前渡金	403,139	953,517
その他	76,144	98,431
貸倒引当金	△102	△107
流動資産合計	1,581,779	1,708,870
固定資産		
有形固定資産	13,406	15,166
無形固定資産	28,376	29,013
投資その他の資産		
投資有価証券	520,147	485,668
関係会社長期貸付金	200,000	100,000
その他	118,136	125,295
貸倒引当金	△86,077	△81,577
投資その他の資産合計	752,207	629,386
固定資産合計	793,990	673,566
資産合計	2,375,770	2,382,437
負債の部		
流動負債		
買掛金	370,049	173,920
前受金	83,869	288,724
その他の引当金	6,285	6,284
その他	72,960	131,946
流動負債合計	533,165	600,876
固定負債	3,616	2,902
負債合計	536,781	603,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△2,148,884	△2,211,228
自己株式	△32,416	△32,425
株主資本合計	1,818,191	1,755,838
新株予約権	20,798	22,820
純資産合計	1,838,989	1,778,658
負債純資産合計	2,375,770	2,382,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,735,376	2,061,580
売上原価	1,412,338	1,669,414
売上総利益	323,038	392,165
販売費及び一般管理費	389,486	423,385
営業損失(△)	△66,447	△31,220
営業外収益		
受取利息	8,859	5,216
為替差益	5,339	—
貸倒引当金戻入額	3,600	4,500
その他	1,164	119
営業外収益合計	18,963	9,836
営業外費用		
持分法による投資損失	5,736	5,535
為替差損	—	2,764
その他	89	202
営業外費用合計	5,825	8,502
経常損失(△)	△53,310	△29,886
特別利益		
関係会社株式売却益	7,382	—
新株予約権戻入益	40,113	—
その他	526	—
特別利益合計	48,022	—
特別損失		
減損損失	1,183	133
持分変動損失	10,275	29,104
その他	839	79
特別損失合計	12,298	29,317
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,586	△59,203
法人税、住民税及び事業税	4,044	3,140
法人税等合計	4,044	3,140
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△21,630	△62,344
四半期純損失(△)	△21,630	△62,344

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△21,630	△62,344
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△21,630	△62,344
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,630	△62,344

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライツ&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	361,125	1,358,198	1,719,323	16,053	1,735,376
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	361,125	1,358,198	1,719,323	16,053	1,735,376
セグメント利益又は損失(△)	4,005	△69,983	△65,977	△469	△66,447

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△65,977
「その他」の区分の損失(△)	△469
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△66,447

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	物販	ライツ&メディア コミュニケーション	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	233,091	1,814,464	2,047,555	14,024	2,061,580
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	233,091	1,814,464	2,047,555	14,024	2,061,580
セグメント利益又は損失（△）	△54,041	20,993	△33,021	1,801	△31,220

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△33,021
「その他」の区分の利益	1,801
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△31,220

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。